

### 1. 堺シグナルの概要

#### (1) 堺シグナルとは

- 市民に分かりやすく、「直近1週間の累積感染経路不明者数」を指標とし、本市の対応の目安を示す。
- モニタリング指標の見える化、行動変容を促す「堺シグナル」(合図)の発信により、市民とともに感染拡大を防ぐ。

Stage1	Stage2	Stage3
【要観察】	【要注意】	【要警戒】
感染が抑制できている	感染が拡大しつつある	感染が拡大している
直近1週間の累積感染経路不明者数		
2人以下	3人以上	7人以上

#### (2) ステージ移行の状況

- 7月 5日 ステージ1【要観察】 ➡ ステージ2【要注意】
- 7月11日 ステージ2【要注意】 ➡ ステージ3【要警戒】

## 2. ステージ3【要警戒】における取組方針

### (1) 感染防止対策の徹底

「こまめな手洗い・うがい」「手指の消毒」「マスクの着用」など感染防止対策を再確認し、堺スタイルの徹底を強く呼びかける。

### (2) 社会経済活動の維持

感染の波を小さく、波のピークを遅らせ、感染防止・予防と社会経済活動が両立しうる状況の達成を目指す。

#### ※大阪モデルと堺シグナル

大阪府の「大阪モデル」は広域を対象とし、経済活動の制限にまで踏み込むものであり、大阪モデルと堺シグナルは棲み分けしている。

### 3. ステージ3【要警戒】における取組

#### (1) 市民への周知

感染防止の取組を強く要請します。

①ホームページ、広報さかい、SNSによる市民への周知
②区広報車による巡回（毎日1回：13時～）
③防災行政無線による放送（毎日2回：11時、16時）
④啓発看板の設置（主要駅前）
⑤感染拡大防止ポスターの掲示（市関連施設、民間事業者施設）
⑥「大阪コロナ追跡システム」や「接触確認アプリ」の登録の呼びかけ強化

## (2) 市有施設等での取組

以下の取組を行うことにより開館を継続します。

①感染予防ガイドラインに基づく感染防止の徹底

②感染拡大防止ポスターの掲示

③感染防止を呼びかける館内放送の実施

④大阪コロナ追跡システムの活用及び利用者への案内

⑤同種の施設での感染発生の状況に応じた施設の一部休館及び閉館の検討

### (3) 市主催イベントでの取組

以下の感染防止対策を徹底し、国・府の基準に基づきイベントを開催します。

①感染予防ガイドラインに基づく感染防止の徹底

②感染拡大防止ポスターの掲示

③感染防止を呼びかける場内放送の実施

④大阪コロナ追跡システムの活用及び利用者への案内

⑤類似イベントでの感染の状況に応じて開催の自粛の検討

#### (4) 行政の取組

感染拡大の防止等の観点から、以下の取組を徹底することにより、市民と職員、職員同士の接触機会の減少を図ります。

①「堺スタイルの働き方」を実施

②テレワーク（在宅勤務）の推奨

③オンライン会議の拡充やビジネスチャットの活用

④時差出勤の拡充（2割目標）

⑤職場の一斉換気の実施やパーテーション等の設置

## (5) 学校園の取組

園児、児童、生徒の安全を守るため、以下の感染防止対策を徹底します。

①教職員一人ひとりの感染防止の徹底、保護者への注意喚起

②園児児童生徒の感染防止（手洗いの励行、体調管理等）の徹底

③学校活動中の「三密」回避の徹底

④ポスター掲出による校内周知の徹底

※ ステージに関わらず、学校園から感染者等が発生した時は、発生学校園の一部または全部を臨時休業します。

## (6) こども園の取組

園児の安全を守るため、以下の感染防止対策を徹底します。

①感染拡大を予防する「堺スタイル」の実践

②感染拡大防止のポスターの掲示（民間保育施設にはポスターの掲示の協力要請）

※ ステージに関わらず、通園児、保育者等に陽性者が出たときは、発生園の一部または全部を臨時休園します。